

令和5年度第3回阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議（議事録）

令和6年1月24日（水）

【場 所】阿南医療センター 2階 講堂 時 間：14：00～15：00

【参加者】 病院関係 寺嶋 吉保 （阿南医療センター）
森 数江 （阿南医療センター）
横手 美穂 （阿南医療センター）
久積 美里 （阿南医療センター）
歯科衛生士 武田 美輪 （徳島県歯科医師会南部歯科連携室）
薬剤師 内田 浩二 （薬剤師会・オリーブ薬局）
居宅介護支援 倉橋 智子 （居宅介護支援事業所ほっとピース）
小規模多機能 木村 賢徳 （ライフサポートキムラ）
特別養護老人ホーム 井出 主樹 （健祥会バイエルン）
阿南市役所 兼任 恵理 （地域共生推進課）
新居 恵介 （地域共生推進課）
山口 八千恵 （地域共生推進課）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター
湯浅 祐司

【欠席者】 病院関係 米津 浩 （阿南医療センター）

◎意見交換会

(1) 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の委員について

阿南医師会として、事務主事 渡邊愛子氏が選出され、全委員の賛同を得たので、本日より委員となる。

(2) 第3回ケアカフェについて

各委員の意見より、「消防との連携について」の講義を行う。

講師は阿南市消防本部に依頼することで決定。救急の現状等について説明していただき、対象者から事前アンケートで質問を受け付ける。また、グループワークで情報共有を行い、連携強化に繋げる。

ケーブルテレビあなんで撮影及びYouTubeへのアップを行い、資質向上のツールとして活用に繋げる。

対象者は、医療従事者、福祉・介護従事者とする。

案内について、医療従事者へは、阿南医師会より阿南市内の病院・医院、福祉・介護施設へは阿南市役所、各関係機関は在宅医療・介護連携支援センターから案内を送付する。開催日程等について、場所は阿南医療センター講堂で2月20日（火）15：30～17：00を予定。

(3) 今年度の振り返りについて

○来年度の開催について

今年度の運営は問題が無いが、以下の項目について向上を図る。

- ・会議委員は、来年度も同様の委員構成とするが、新たに阿南市消防より参加していただき、連携強化を図るのはどうか。地域共生推進課と在宅医療・介護連携支援センターで消防へ説明等を行う。
- ・ワーキンググループ会議及びケアカフェの開催回数は年3回とする。開催場所は会議・ケアカフェとも阿南医療センターで開催。開催時間については、多くの職員が時間外になることを考慮し、14：00～16：00に変更する。
- ・研修内容について、今年度は、福祉分野の研修を取り入れたことで連携強化を図ることができ、職員の資質向上にも繋がっていると感じる。来年度も医療に偏ることなく、今年度と同様に医療・介護・現状の課題に応じて決定を行う。
- ・来年度のケアカフェで医療・介護・障がいの制度トリプル改定についても視野に入れる。

(4) その他

○ケアマネジャーと地域連携室との連携について

入院患者の件でケアマネジャーに連絡を取りたいが、ケアマネジャーが不明なケース（本人・家族が担当ケアマネジャーの名前を答えられない等）があるため、ケアマネジャーは自分の担当している利用者が入院した場合は、必ず病院へ連絡するよう連携強化を図って欲しいとの要望がある。

⇒在宅医療・介護連携支援センターで管轄しているサービス事業所連絡会の介護支援専門員部会で周知を図る。また、委員より意見を頂いた担当ケアマネジャーの名刺を健康保険証入れやお薬手帳に入れての対応も行う。

○ACP相談員研修の受講について

2月16日に主催：阿南医療センター、後援：在宅医療・介護連携支援センターで県外から講師を招いて研修を行う。

また、2月17日には、徳島県医師会と連携し、講師に寺嶋先生らを招き、グループワークには在宅医療・介護連携支援センターの湯浅と当会議委員の木村氏がファシリテーターとして参加予定である。

多くの職員に参加して欲しいので、案内を在宅医療・介護連携支援センターで作成し、地域共生推進課・介護保険課より福祉・介護施設・事業所に案内をする。医療機関へは阿南市医師会より案内を行う。

【会議風景】



報告者 センター長 湯浅 祐司